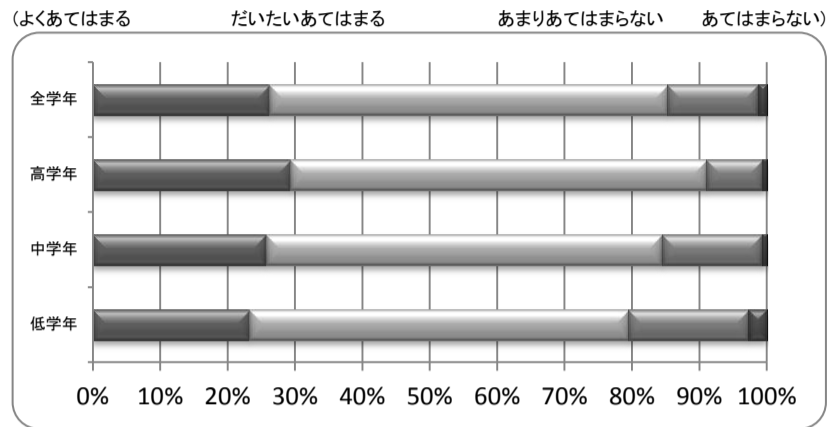


平成28年度保護者意識調査の結果について

保護者の皆様を対象に「山前小学校の教育活動に対する保護者意識調査」を10月に実施しましたところ、ご多用中にもかかわらず多くの方にご協力いただくことができました（配布：602枚 回収：461枚 回収率：76.5%）。調査の集計ができましたので、ここに報告いたします。調査結果やご意見を参考にし、今後の教育活動に努力していくことも合わせてお知らせします。

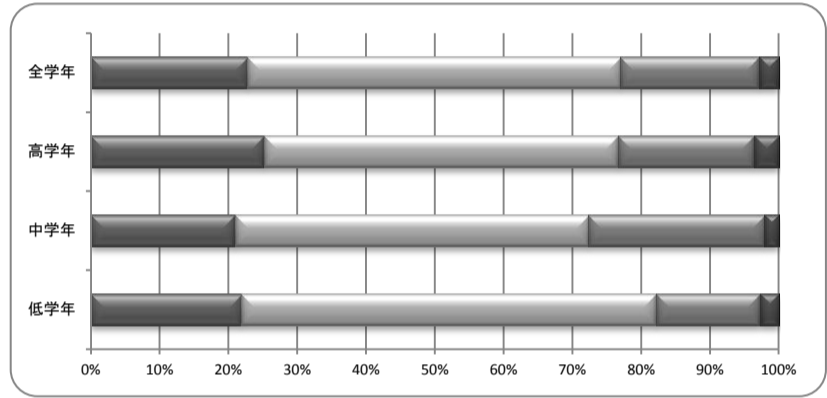
1 お子さんは、家庭や地域で、元気にあいさつをしたり、進んであいさつをしたりしていますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」とあわせると、**85%（昨年は86%）と比較的よい結果でした。**結果を詳しく見ると、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」とも昨年同様でした。高学年は、「よくあてはまる」が29%、「だいたいあてはまる」が62%であり、合計すると91%と高くなっています。グラフからも学年が上がるにつれ、あいさつの大切さを自覚して、進んであいさつができるようになっていくことが分かります。

一方、自由記述欄には、「旗振りのとき、あいさつができない子がいて、少し残念」「誰に対してもしっかりとあいさつができるように」など、あいさつ指導に関するご意見が多く寄せられました。学校では、生活目標に「あいさつは大きな声ではっきりと」を掲げ年間を通じ指導をしたり、あいさつ週間の設定やあいさつポスターを掲示したりすることをおして、あいさつ指導に力を入れています。今後も、保護者の皆様のご協力をいただきながら、指導を継続してまいります。

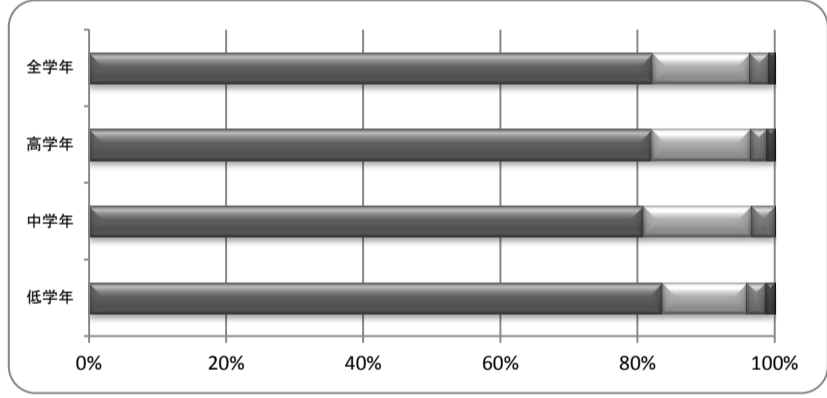
2 お子さんは、「家庭学習の手引き(ウイズ山前 P10~12)」のように、家庭で、宿題や自主学習をしていますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」とあわせると、**77%（昨年度は78%）とやや課題の残る結果でした。**自由記述欄に、「自主学習ができるように」など、宿題や自主学習に関するご意見が寄せられました。

自主学習は、自ら学習する態度を育てるために重要です。そこで、学校では、宿題だけでなく自主学習をすすめたり、自主学習の仕方を指導したりしています。本校では、今年から3年間、足利市教育委員会の指定を受け、学習指導改善の研究に取り組んでいます。学ぶことに意欲をもち、学んだことが生きて働く力となるよう、自主学習も含め家庭学習について、ご家庭の協力をお願いします。ポイントは「①時間は10分×学年、②テレビを消す、③席を離れない、④毎日行う」です。認められほめられることで、家庭学習の習慣が身に付いてきます。

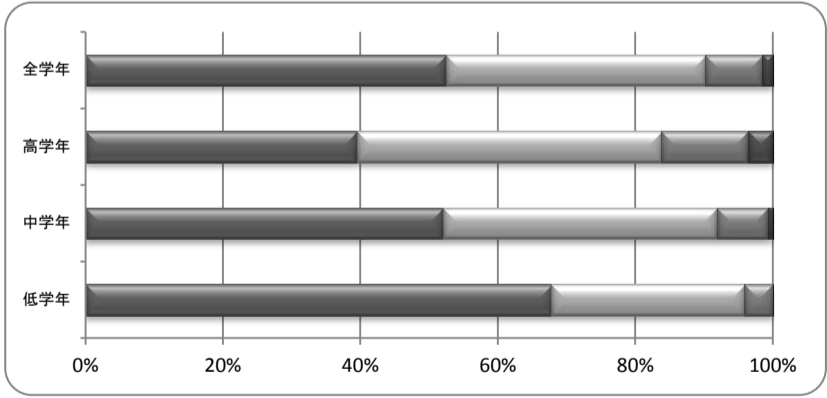
3 お子さんは、朝ご飯を食べて登校していますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**96%、かつ、「よくあてはまる」がどの学年も80%以上であり、とてもよい結果でした。**朝ご飯を食べている子どもとそうでない子どもの間には、学力にはっきりとした差があるという研究結果が発表されています。朝ご飯を食べて登校すると、脳が活性化し、体がしっかりし、心も落ち着くため学習に集中できるからでしょう。

登校後、不調を訴える子どもや落ち着きがない子どもに話を聞くと、朝ご飯を食べてこなかったということをよく聞きます。朝は慌ただしく時間が過ぎますが、これからは朝食を用意してあげてください。また、一日一回でも家族そろって食事をすることや、三食きちんととること、バランスよい食事をとることも、食育という観点からは大切です。お子さんの心と体の健全な成長のため、今後も、ご家庭でのご協力をお願いします。

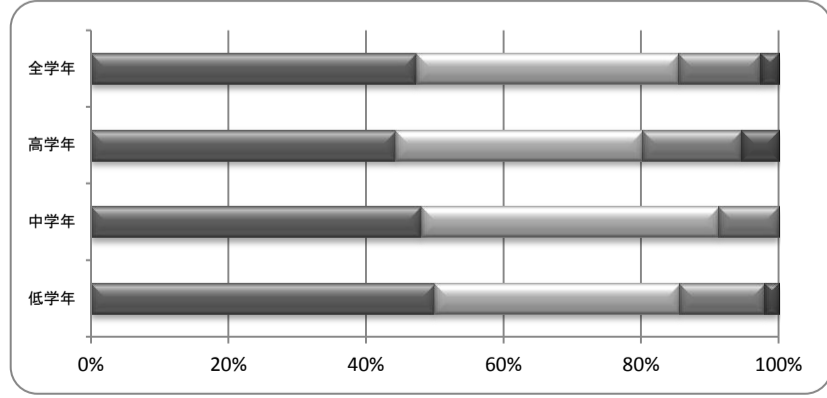
4 ご家庭で、お子さんの宿題やノート、連絡帳、学校からの配布物などを確認していますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**90%とよい結果でした。**特に、全学年の「よくあてはまる」が昨年の48%から52%に増加しています。また、学年ごとに比較しても、どの学年も維持または上昇傾向が見られました。教育への関心が高いことの表れであると思います。

「よくあてはまる」を学年で比較すると、低学年68%、中学年52%、高学年40%と、学年が上がるにつれ、連絡帳を開くなどといった確認が少なくなっていることが分かります。自立という側面では望ましいことではあると思いますが、手をかけることがなくなっても、声や目をかけることは必要です。配布物には、学校だけでなく、教育委員会等からのたよりなどもあります。すみずみまでしっかり読むことは難しいかと思いますが、読めば必ず子育てにとって有益な情報がありますので、ぜひ、ご一読くださいますようお願いいたします。

5 お子さんと一緒に、地域の活動(育成会の行事、祭りなど)に参加していますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**82%と比較的よい結果でした。**今年の「ふれあいまつり」では穏やかな天候のもと、多くの子どもたちが楽しそうに参加をしていました。ボランティアの子どもたちについても、一生懸命に役割を果たした子が多かったというご意見もいただいています。地域で行われるお祭りなどは、たくさんの保護者の方が携わっているからこそ、運営が成り立っていると考えます。地域の子どもの地域で守り育てようとする山前地区の考えや雰囲気は、大変すばらしく、本当にありがたいことです。

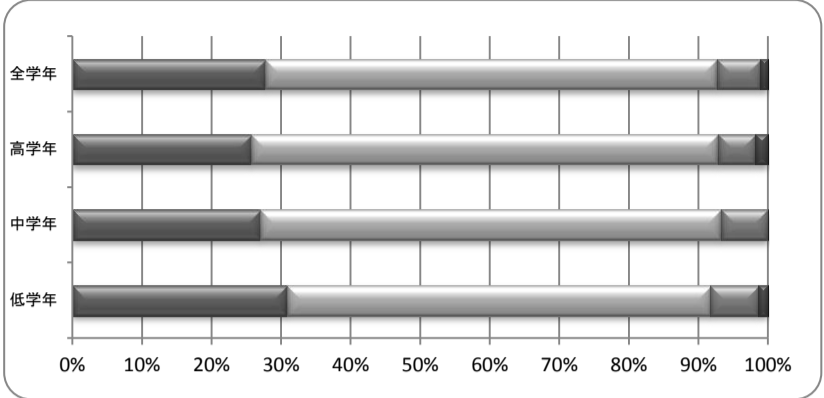
学年が上がるにつれて、休日の過ごし方が多様化していき、地域の行事等に参加しづらいとは思いますが、今後も、積極的な参加を期待します。そして、山前地区が好きな山前の子どもの、皆様と協力して育てていけたらと思います。

※裏面もごらんください



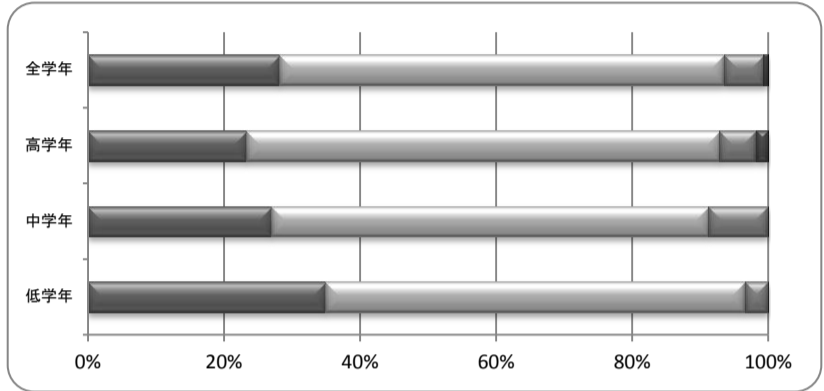
6 山前小は、保護者や地域の方と手を取りあって、お子さんを教育していますか。

(よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない)



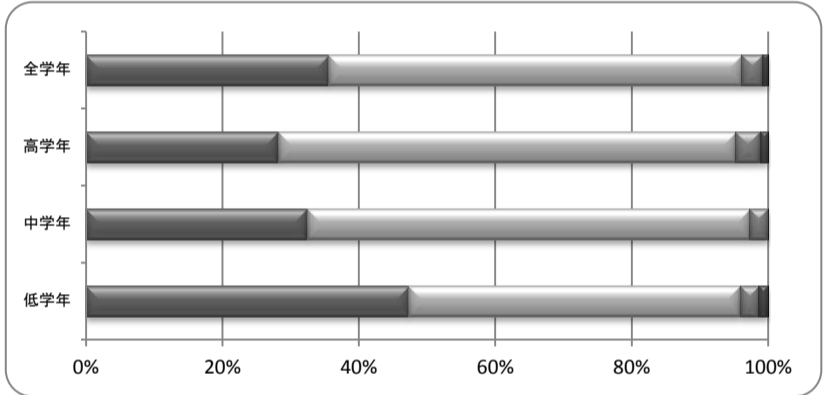
全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**93%と昨年同様よい結果でした。**これは、「子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる学校・地域と共に歩み信頼される学校を目指し、保護者の皆様や地域の皆様と連携を深め、協働による子どもたちの継続的な指導と支援(共育)に努めていく」という本校の学校経営の方針に、皆様が賛同してくださっていることの結果であると受け止めます。
 現在、保護者の皆様方に「山前パトロール隊」の協力をお願いをとおして、「下校時の安全確保」の試みを進めております。しかし、これから、ますます日没が早くなります。また、もうすぐ、冬休みとなります。そこで、ご家庭でも「冬休みの生活」をもとに、今一度、安心して安全な生活に関する約束事を確認してください。学校も、保護者の方々の協力を仰ぎながら子どもの安全確保に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

7 山前小は、お子さんの気持ちや「良さ」を感じ取りながら、教育をしていますか。



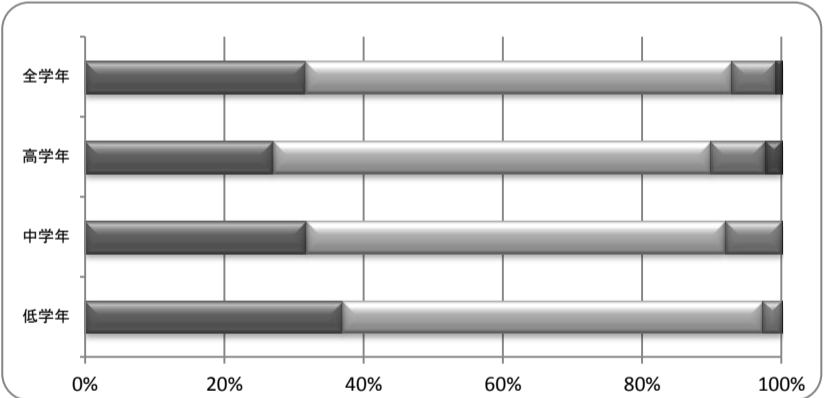
全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**93%とよい結果でした。**山前小では、「常に子どもに寄り添い、子どもの心を感じ取り支えることができる教職員」を目指す教職員像とし、日々の教育活動に専念しています。また、ふれあい相談(全員を対象とした個別の教育相談)、今の心の状態を理解するための積極的な声かけ、日常のふれあい(給食中の会話、休み時間を共に過ごす、養護教諭や心の相談員との相談)、一人一人に応じた指導の工夫など、具体的な方策を計画的に実施しています。さらに、善行については、担任に報告したり、職員間で情報を共有したりし、いろいろな場面での活躍を認め、励まそうとしています。
 自由記述欄に、「今後も、一人一人の子どものよい所を見つけ、ほめ、励ましてほしい。」というご意見をいただきました。今後も、努力を継続していきたいと考えます。

8 授業参観や学校公開などの様子から、山前小は、分かりやすい授業をしていますか。



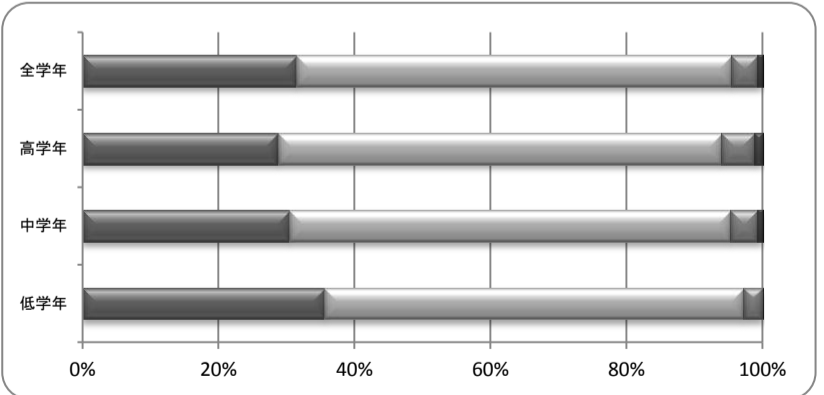
この項目も、全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**98%と全10項目中で最もよい結果でした。**山前小では、学校課題(特に重点を置いて取り組む課題)を「自ら学ぶ子の育成(主体的に学ぶ力と基礎学力の向上)とし、子どもたちの学力向上を目指しています。特に今年は、分かる授業の実践・学習意欲の向上・学び方の習得等に努めてきました。毎時間のめあての確認や計算問題の取組、学んだ知識を活かして考える問題の取組などが行われています。
 自由記述欄に、「毎時間、計算問題を授業にやっていたら、とてもありがたい」というご意見をいただきました。これも、今年力を入れて指導していることの一つです。家庭学習で、予習や復習をすることで、授業中の理解が深まり、分かることで意欲は高まります。子どもたちのやる気が高まっている今がチャンスです。ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

9 山前小は、友だちとなかよく、はげまし合って生活しようとする子どもを育てていますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**93%とよい結果でした。**山前小では、学級を基盤に、「良さ」を認め合う人間関係を築いていけるよう、日々の教育活動に努めています。授業における学び合う活動、子ども同士の話し合いをもとに目標や活動内容を決め、楽しい交流体験を重ねていく縦割り班活動、「礼儀、感謝、思いやり、協力」について実践力を高める道徳の授業、「QUテスト(学級満足度等をはかるテスト)の結果を踏まえた計画的な具体的支援などがその例です。また、いじめ防止基本方針に基づく調査・組織的な指導を実施し、問題行動の予防と対策を実践しています。
 自由記述の欄に、「人と人との結びつきを大切にする」「相手を思いやる言葉がけができるように」など、ご意見が寄せられました。これらのことも含め、今後も、自らを律しつつ、他人を思いやり協調する心と実践的な態度を育てていきたいと考えます。

10 山前小は、「生活のきまり(ウイズ山前P9参照)」を守って生活しようとする子どもを育てていますか。



全学年では、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」をあわせると、**95%とよい結果でした。**山前小では、規範意識(社会のルールを守ろうとする意識)や自律心(自分の衝動をコントロールする力)を育てる教育を日々実践しています。「生活のきまり」は、その指導の基準であり、組織的かつ全職員で指導に当たっています。子どもの意識調査でも、「チャイムとともに行動すること」「正しい言葉遣いをする」「正しいと思ったことを進んでやっている」に関してよい結果を得られています。
 生活のきまりには「交通ルールを守ること、ゲームセンターなどに子どもだけで行かないこと」など、校外の生活に関することも記されていますので、再度、ご確認いただけたらと思います。
 自由記述の欄に、「公共のルール・マナーを身につけて」というご意見をいただきました。学校でも継続して指導をしていきたいと考えます。

ここに掲載できなかった自由記述欄のご意見につきましても、参考にさせていただき、今後の教育活動に努めていきます。ありがとうございました。

